

住まい・まちづくり市民セミナー

韓国における共同居住の動向 —なぜコ・ハウジングが注目されるのか

朴 庚 玉 (忠北大学 教授)

KYOUNG-OK PARK / PROFESSOR/PH.D.
DEPT. OF HOUSING & INTERIOR DESIGN
CHUNGBUK NATIONAL UNIVERSITY

アパートが都市の主要な居住形態となっている韓国。これまで、大都市を中心に、分譲共同住宅である高層アパートが大量に供給されてきました。

近年、商品住宅として供給されるアパートに飽き足りない新たな居住ニーズが生まれています。その1つが、コ・ハウジングと総称される共同性を積極的に位置づける住まいです。

本講演会では、どのような人々が、なぜ、コ・ハウジングを指向するのか、またそこで、どのような住まい、住まい方が行われているのかを、第一線で活躍されている研究者から紹介していただきます。韓国の最新動向を通して、住まいのあり方、また協働して住まう意味をともに考えたいと思います。

講演は日本語で行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時

2017年2月14日 (火)
午後6時半～8時半

場所

大阪駅前第2ビル6階
大阪市立大学梅田サテライト106教室

主催：日本建築学会住まい・まちづくり支援建築会議
関西実行委員会：高田光雄（京都大学）・碓田智子（大阪教育大学）
・檜谷美恵子（京都府立大学）他

参加方法等

- ・参加は無料です。
- ・本企画に関心のある方は、どなたでも参加できます。
- ・事前のお申し込みは、メールに、参加者の氏名、所属、を記載し、下記アドレスまでお願いします。
- ・申し込み多数の場合は、先着順といたします。

申し込み／ 問い合わせ先

京都府立大学 檜谷まで

メールアドレス：
hinokidani@kpu.ac.jp

電話：075-703-5418

会場へのアクセス

- ・東西線「北新地駅」下車、徒歩約1分（東改札口直結）
- ・JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約10分
- ・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- ・地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約10分
- ・地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分
- ・阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
- ・阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分